

DRUG



INFORMATION

2007 No. 37

平成19年12月26日発行

高カロリー輸液製剤は末梢ルート投与の指示をしないで下さい！
(大塚糖液 50% 500mL、等)

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線 7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)



高カロリー輸液製剤は末梢ルート投与の指示をしないで下さい！

当院における 2007 年 10～12 月の 3 ヶ月間の高カロリー輸液製剤の注射手技の調査では、3,086 件のうち 96 件 (3.1%) が点滴注射の末梢ルート投与指示がされています。オーダー指示のミスが医療関連事故に繋がる可能性がありますので、高カロリー輸液製剤の注射手技は「中心静脈注射」を選択して処方して下さい。

高カロリー輸液製剤は、経口摂取出来ない患者の栄養状態を正常域に保つため、生命維持に必要な栄養素を心臓に近い中心静脈に留置されたカテーテルより投与する製剤です。高カロリー輸液製剤を**末梢静脈**より投与すると、血栓性静脈炎を起こし、疼痛、腫脹、発赤等の症状とともに静脈の閉塞を起こして投与不可能となるため、注意が必要です。そのため、これらの薬剤を含む処方を注射オーダーで指示する場合には、「**中心静脈注射**」を選択して指示する必要があります。

当院では、高カロリー輸液製剤として、下記の 11 品目の薬剤が採用されています。これらの薬剤について、2007 年 10～12 月の 3 ヶ月間におけるオーダーの注射手技について調査したところ、全 3,086 件のうち **96 件 (3.1%) が点滴注射・末梢ルート投与の指示がされていました**(表 1)。特に、大塚糖液 50% 500mL については、全 488 件中 **27 件 (5.5%)** と高頻度に末梢ルート投与の指示がされており、実際末梢ルートから投与してしまったというアクシデントケースも発生しています。

岐阜大学病院で採用している高カロリー輸液製剤

- ・大塚糖液 50% 500mL
- ・ネオパレン 1 号 1000mL
- ・ネオパレン 2 号 1000mL
- ・ハイカリック液-1 号 700mL
- ・ハイカリック液-2 号 700mL
- ・ハイカリック液-3 号 700mL
- ・ピーエヌツイン 1 号 1000mL
- ・ピーエヌツイン 2 号 1100mL
- ・ピーエヌツイン 3 号 1200mL
- ・フルカリック 1 号 903mL
- ・フルカリック 2 号 1003mL

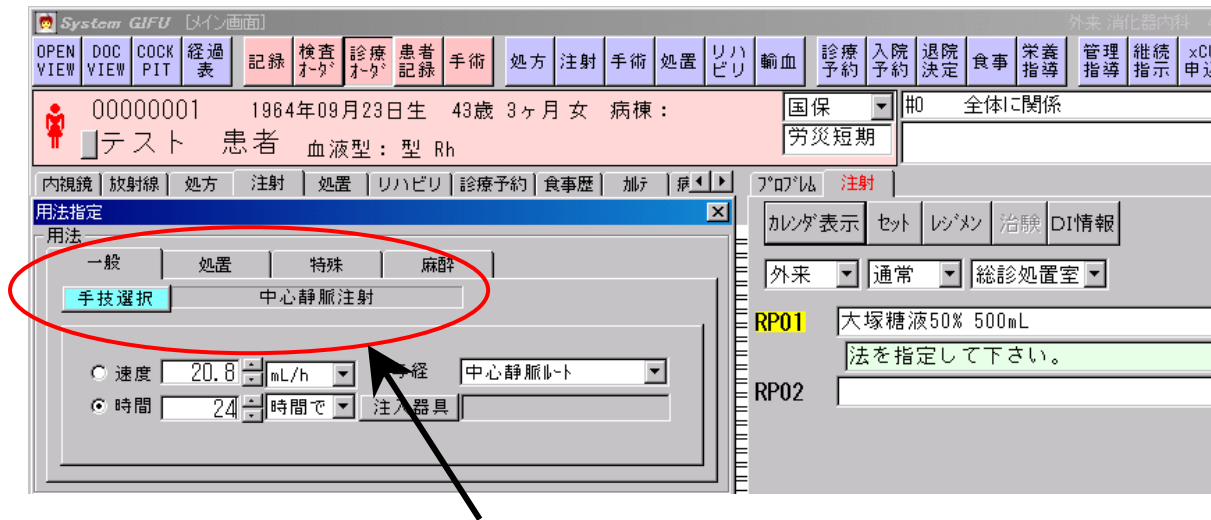
表 1. 当院における高カロリー輸液製剤のオーダー指示状況
(2007 年 10 月～12 月の 3 ヶ月間における調査)

薬品名	全処方件数	末梢ルート投与 指示件数 (%)
大塚糖液 50% 500mL	488	27 (5.5%)
ネオパレン 1 号 1000mL	431	20 (4.6%)
ネオパレン 2 号 1000mL	389	5 (1.3%)
ハイカリック液-1 号 700mL	15	
ハイカリック液-2 号 700mL	39	
ハイカリック液-3 号 700mL	47	
ピーエヌツイン 1 号 1000mL	278	1 (0.4%)
ピーエヌツイン 2 号 1100mL	314	6 (1.9%)
ピーエヌツイン 3 号 1200mL	184	
フルカリック 1 号 903mL	438	20 (4.6%)
フルカリック 2 号 1003mL	463	17 (3.7%)
合 計	3,086	96 (3.1%)

高カロリー輸液製剤による医療関連事故を事前に防止するためにも、これらの薬剤をオーダーする場合には、必ず「**中心静脈注射**」の手技を選択して処方して下さい。次頁に、高カロリー輸液製剤の注射オーダー時の手技の選択について記載しましたので、参考にして下さい。

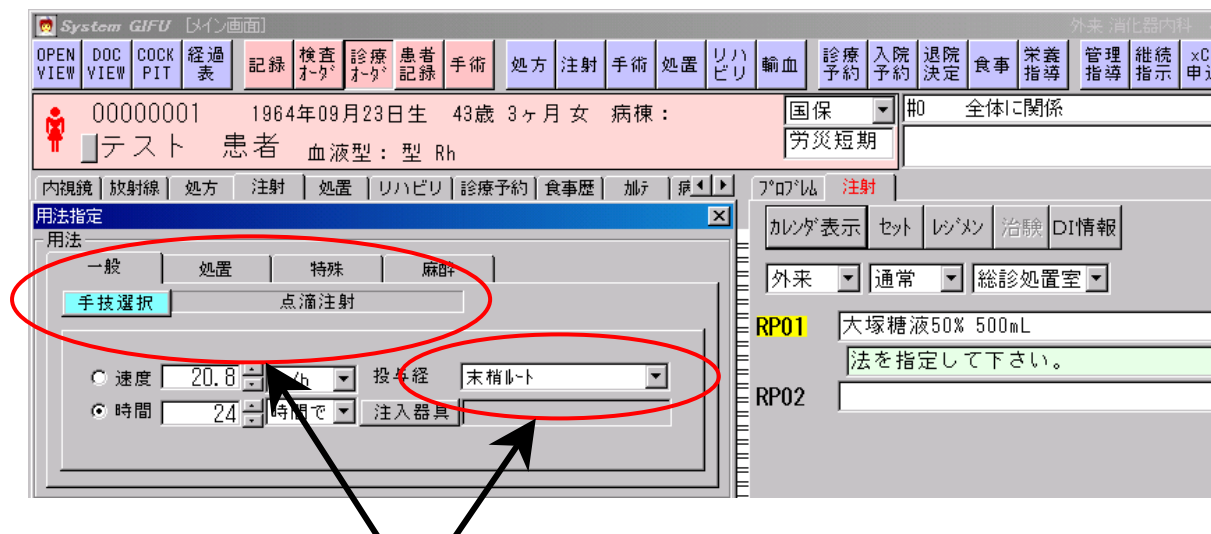
【高カロリー輸液製剤処方時の手技の選択について】

○ 適切な手技

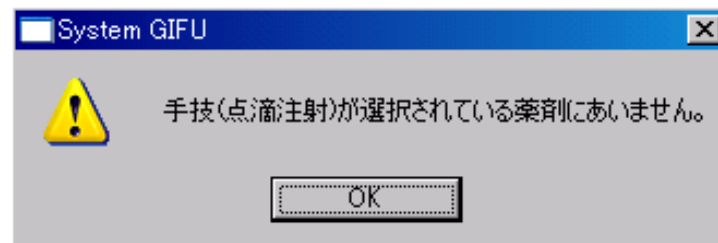


高カロリー輸液製剤処方時は中心静脈注射を選択して下さい。

× 不適切な手技



点滴注射を選択すると、投与ルートがデフォルトで「末梢ルート」になってしまいます。更に、下記の警告メッセージも表示され、適切な手技でないことを注意喚起します。



警告が表示された場合には、手技を選択しなおして処方して下さい。

【文責：安田】